



## 『はじめの一步』

作詞 新沢としひこ

作曲 中川ひろたか

小さな鳥が 歌っているよ  
僕らに 朝が 訪れたよと  
きのうちがう 朝日が昇る  
川の流れも 輝いている

はじめの一步 明日に一步  
今日から何もかもが新しい  
はじめの一步 明日に一步  
勇気をもって大きく  
一歩歩き出せ

信じることを忘れちゃ行けない  
必ず朝は訪れるから  
僕らの夢をなくしちゃいけない  
きっといつかはかなうはずだよ

はじめの一步 明日に一步  
今日から何もかもが新しい  
はじめの一步 明日に一步  
生まれ変わって大きく  
一歩歩き出せ



## 「つながり」の再構築

校長 蒲谷 猛

新年度早々、自分の話題で申し訳ないですが、我が家のご近所8軒はとても仲良しです。8軒集まって、夏にはバーベキュー、冬にはクリスマス会をやります。スキーツアーにも何度も一緒に行っています。結構な団体旅行です。

それだけではなく、授業参観も我が子だけでなく、すべての子どもをすべての8軒の親が参観します。そして、参観終了下校を待って、時には焼き肉、時にはカラオケに行き、会食しながら今日8軒の親が見つけたすてきなところを、それぞれの子どもの「ほめ言葉のシャワー」として浴びせます。大勢からほめられる子どもたちが肉を頬張りながら目をキラキラさせているのがいつも印象的でした。

しかし、令和2年に新型コロナウイルスの感染拡大状況が思わしくなくなると、これらの活動は一切できなくなってしまいました。新型コロナが引き起こす被害の大きな一つが、「人と人とを引き離すこと」「人のつながりを断つこと」でした。ようやく今年度5月からは、新型コロナウイルスの捉え方が変わり、感染症対策の在り方も変わりそうです。

そんな今年度ですから、一番大切にしなければいけないのは「『つながり』を再構築すること」だとわたしは考えています。

子どもの学校生活でしたら、随分と「黙食」が話題になりましたが、他にも、グループ活動、バズセッション、共同制作など、様々なもので制限を受けてきました。机の配置だって、「前向きで間隔をあけて」でしたから、いわゆる「ロの字型」「コの字型」というような対面形式の机配置がようやく積極的に活用できそうです。

保護者のみなさんの「つながり」が、子どものよりよい成長には不可欠ですが、この点でも、わたしの近所の例のように、ご苦心されてきたことと思います。今年度は、学級の保護者連携、学年の保護者連携、ご近所の保護者連携を深めていただき、ぜひ、子どもに日々起こる様々な出来事を見守り支えていただけるように願っています。学校でも、対面での懇談会の再開や「つながり」づくりに結びつくような懇談内容等、段階的に工夫していきます。また、今年度は、本校は創立80周年。これを契機に、学校を支えてくださる地域の方々や卒業生の方々とも「つながり」を深められる年にしたいとも考えています。

学校づくりのテーマは、『明日も来なくなる学校』。今年もこのテーマのもと、学校づくりを進めてまいります。子どもにとっても大人にとっても魅力ある学校となるように、本校の教育活動の一層の充実に邁進してまいります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

